

【概要】新たな北陸圏広域地方計画 中間とりまとめ（素案）

－ 目 次 －

広域地方計画の全体構成	1
北陸圏広域地方計画中間とりまとめ(素案)の全体構成	2
広域連携プロジェクトの概要	4
【別紙】広域連携プロジェクトの施策群・施策構成	16

令和6年6月

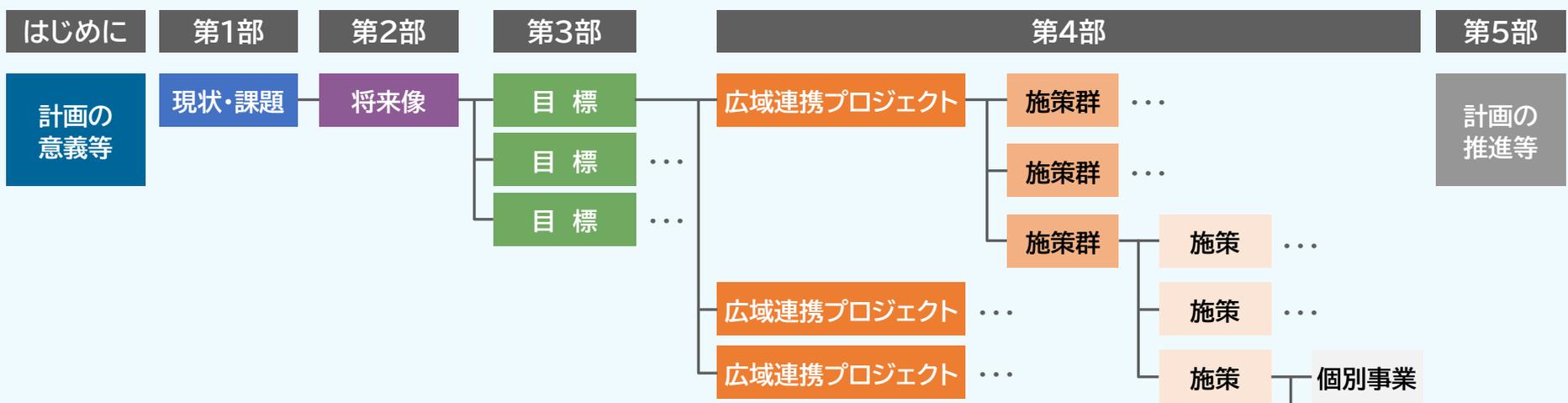
北陸圏広域地方計画推進室

広域地方計画の全体構成

「基本的な考え方」で公表済（目標まで）

「中間とりまとめ」で公表する範囲（施策まで）

「中間とりまとめ」以降に策定予定



【各項目の内容】

はじめに	計画の意義等	：計画の意義、計画の位置付け、対象区域、計画期間 など
第1部	現状・課題	：圏域の地域構造、圏域の強み・弱み、取り巻く環境の変化、現況への対応方針 など
第2部	将来像	：課題を踏まえて目指す地域の概括的な方向性
第3部	目標	：将来像で示された概括的な方向性を分野ごとに具体化し、計画を通じて目指すべき目標
第4部	広域連携プロジェクト	：目標を達成するために必要な広域性、戦略性、総合性、実効性の全ての性質を備えたプロジェクト
	施策群	：広域連携プロジェクトを推進するための、より具体化された取組が施策、それらを小見出しでまとめたものが施策群
	個別事業	
第5部	計画の推進等	：多様な主体の参画・協働、他圏域との連携、他計画・施策との連携、計画の進捗管理など、計画の推進に必要な事項 ₁

北陸圏広域地方計画中間とりまとめ(素案)の全体構成

国土形成計画
(全国計画)

目指す国土の姿 新時代に地域力をつなぐ国土 ～列島を支える新たな地域マネジメントの構築～

- デジタルとリアルの融合による **活力ある国土づくり**
- 巨大災害、気候危機、緊迫化する国際情勢に対応する **安全・安心な国土づくり**
- 世界に誇る美しい自然と多彩な文化を育む **個性豊かな国土づくり**

【第1部】
北陸圏の
現状と課題

- 1. 震災復興と自然災害への対応**
 - (1) 令和6年能登半島地震からの復旧・復興
 - (2) 激甚化・頻発化する自然災害等への対応
- 2. 多様なニーズに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の形成**
 - (1) 歯止めのかからない若者の人口流出への対応
 - (2) 地方への移住希望者の受け皿として多様な価値観を受容する社会の形成
 - (3) 震災発生に伴う更なる人口流出の危惧
- 3. 多様で個性ある地域の持続的発展**
 - (1) 集約型都市構造への転換と接続した都市の連携強化
 - (2) 都市部と農山漁村の連携強化による個性と魅力の向上
 - (3) 都市部における快適で安心できる居住環境の維持・向上
 - (4) 半島や中山間地域等での過疎化の進行への対応
 - (5) 将来的な社会基盤施設の維持
- 4. 自然環境との調和**
 - (1) 美しく豊かな自然環境等の保全
 - (2) 脱炭素社会に向けた対応
- 5. 地理的優位性を活かした産業の強化**
 - (1) 特徴あるものづくり産業の集積を活かした競争力強化とイノベーションの取組の継続
 - (2) 地理的優位性を活かした三大都市圏との連携強化と新産業拠点の形成
 - (3) 農林水産業の魅力向上による産業の強化と担い手確保
 - (4) 地域経済の成長を底上げする物流の多様化・高度化
- 6. 太平洋側の災害リスクの高まりに伴う本社機能移転等への積極的な対応**
- 7. 圏域外の人との多様な関係構築と新しい交流圏の形成**
 - (1) 北陸圏内の地域資源の磨き上げ
 - (2) 観光需要の回復・高まりへの対応と、交通ネットワークの更なる強化
 - (3) 新たな交流市場への対応と観光地域づくり
 - (4) 関係人口の拡大
 - (5) 新しい交流圏の形成

【第2部】
北陸圏の
将来像

住み心地・居心地よく、多彩な魅力を活かして躍動する北陸

- 暮らし**
震災からの生活再建, 多様な働き方・暮らし方の実現
- 産業**
震災からの生業再建, 日本海側と太平洋側の二面活用
- 交流**
多彩な魅力を活かした交流・関係の創造・拡充

【第3部】
将来像実現
に向けた
目標

目標 1 北陸圏での 魅力ある暮らしの実現 生活環境・雇用環境の充実と 安全・安心かつ環境と調和した地域づくり	目標 2 競争力のある産業の育成 北陸における 経済・生産の一層の活性化	目標 3 日本海側の 中枢圏域の形成 日本海側圏域及び 太平洋側圏域との連携強化	目標 4 交流・関係人口の創出 北陸の魅力を活かした 国内外との交流・関係の創出
--	--	---	--

※赤字部分: 令和6年能登半島地震の発生をふまえて追加した項目 (赤字箇所以外の項目も震災関連の内容について加筆・修正を行っている)

目標までは「基本的な考え方」で公表済 (R5年7月)

北陸圏広域地方計画中間とりまとめ(素案)の全体構成

【第4部】
主要な
施策



広域連携プロジェクトの概要【PJ1】

PJ1 安全・安心な地域づくりPJ

- 令和6年能登半島地震からの生活と生業の再建に向けた創造的復興を推進
- 防災・減災、国土強靱化の一層の強化やインフラメンテナンスの戦略的・計画的な推進

施策群① 震災からの早期復旧・復興

- 令和6年能登半島地震で被災したインフラ施設等の復旧促進と強靱化
- 耐震化・液状化対策による災害に強い住まいの再建

- 令和6年能登半島地震からの復旧・復興【北陸地方整備局 他】
 - ・令和6年能登半島地震により被災したインフラ施設等は、自治体のみならず国による権限代行などにより、復旧・復興事業を迅速に推進している。



【国道249号沿岸部の大規模土砂崩れ】



【河原田川の河道閉塞】

施策群② 防災・減災、国土強靱化の更なる強化

- 被害を最小限に抑えるため、流域治水などハード・ソフトによる総合的な対策の実施

施策群③ 安全・安心な国土利用・管理等による防災・減災まちづくり

- 災害ハザードエリアにおける開発抑制など、まちづくり施策と連携した国土の適切な利用による災害に強いまちづくりや、事前復興まちづくり計画策定の推進

施策群④ 戦略的メンテナンスの取組強化

- 予防保全型メンテナンスへの本格転換やメンテナンスの高度化・効率化

広域連携プロジェクトの概要【PJ2】

PJ2 多様性のある地域づくりPJ

- 震災からの暮らしと住まいの再建や多様な暮らし方・働き方が選択できる地域づくりを推進
- こども・子育て環境の充実、ゆとりある居住環境などを活かした定住・移住を促進

施策群① 暮らしの再建と医療・福祉・子育て支援の取組強化

- 令和6年能登半島地震からの暮らしの再建、若者から高齢者まで住みやすい地域づくり

■ かほく市ファミリーサポートセンター【石川県】

- ・子育ての援助してほしい方、援助を行いたい方がセンターへ登録し、地域で育児の助け合いを行う。



出典：ファミリーサポートセンター（かほく市定住促進ホームページ）

施策群② 多様な主体の参加と連携

- 女性の社会参加の拡大やダイバーシティの推進、外国人にも暮らしやすい地域づくり、若者からの意見を反映させた地域づくり

施策群③ 多様な価値観に応じた暮らし方・働き方の拡充

- 多様な働き方のできる雇用環境づくり、優れた人材定着に向けた環境整備

■ ワークライフバランス企業知事表彰【石川県】

- ・ワークライフバランスを図るための職場環境の整備に特に積極的に取り組み、優れた成果があった企業を表彰



施策群④ 新しい公共の領域拡大

- 地域と企業の連携促進、ソーシャルビジネス等の支援

広域連携プロジェクトの概要【PJ3】

PJ3 デジタルを活用した地域生活圏形成PJ

- 都市の利便性・農山漁村のゆとりを享受できる居住環境を形成
- 北陸圏における多様な暮らし方を支え、暮らし続けられる地域づくりを推進

施策群① 圏域の経済をけん引する高次都市機能集積拠点の形成

➤北陸圏の主要都市が接続した都市圏の形成(接続型都市圏)

施策群② 持続可能な生活圏の再構築

- 生活圏を形成する中核都市を中心としたコンパクト+ネットワークづくり
- デジタルを活用した個性や魅力があり暮らし続けることのできる地域づくり

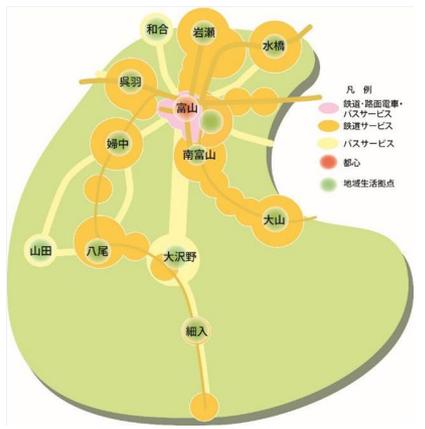
■ コンパクトシティの取組み【富山市】 ＜概念図＞

富山市が目指すお団子と串の都市構造

- 串：一定水準以上のサービスレベルの公共交通
- お団子：串で結ばれた徒歩圏

＜実現するための3本柱＞

- ①公共交通の活性化
- ②公共交通沿線地区への居住推進
- ③中心市街地の活性化



出典：コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築(富山市資料)

施策群③ 最適な国土利用・管理等による地域コミュニティの再生

- 空き家や低未利用地の適正管理等による市街地再編や中心商店街の活性化
- 暮らしやすさPRによる二地域居住やUIJターンの促進

広域連携プロジェクトの概要【PJ4】

PJ4 北陸圏グリーン化PJ

- 美しい豊かな自然環境を有する北陸圏の強みを活かして魅力ある地域づくりを推進
- 水力等の再生可能エネルギーのポテンシャルを活用して脱炭素化を推進

施策群① 自然環境の保全と里地・里山・里海の維持・形成

- 北陸圏の美しく豊かな自然環境・水循環、生態系などの保全や管理

施策群② 脱炭素地域づくり

- カーボンニュートラルの実現にむけた再生可能エネルギー導入促進及び導入に向けた問題・課題への対応
- 資源循環や不法投棄対策、大気や水環境など生活環境の改善

■ 希少野生動植物の保護対策事業の推進【中部森林管理局】

- ・北アルプスの国有林において、希少な高山植物等の保護や山岳環境の美化を目的としたパトロールを継続的に実施している。

[グリーンロープの整備]



■ 小水力発電【富山県】

- ・小水力発電は身近な河川や農業用水路を利用して発電できること、CO2の排出量が少なく環境への負荷が少ないこと、太陽光や風力に比べ気象の影響が小さく安定した発電が可能であることなどから、包蔵水力が全国2位という富山県の高いポテンシャルを活かし、積極的な導入促進に取り組むこととしている。

[用水からの取水口]



[水車発電機]



広域連携プロジェクトの概要【PJ5】

PJ5 活力ある農林水産業形成PJ

- 農林水産業の持続的な発展にむけた農山漁村の活性化や担い手の確保
- 良質な農産物等による「北陸ブランド」の魅力を活かした産業の活性化

施策群① 食料の安定供給と農山漁村の活性化

- 令和6年能登半島地震からの再建など、農林水産業の持続的発展のため条件整備
- スマート農林水産業などの新技術の社会実装や、農林水産業の担い手確保・育成

■ スマート農業の取組み事例：大規模水田作の大区画ほ場での超省力作業体系の技術実証【富山県射水市】
・大区画ほ場における水稻等の生産性の向上と、構成員の高齢化に対応した作業の軽労化のため、無人トラクタや、自動水管理システムを導入した取組みを実施している。



耕起・整地

無人トラクタによる作業時間の短縮



田植え

直進キープ・可変施肥田植機による労力軽減と増収、良食味米生産



水管理

自動水管理システムによる労力節減



収穫

収量コンバインによる産米データ把握と収量・品質向上

出典：スマート農業実証プロジェクト令和元年度採択地区(農林水産省北陸農政局)より作成

施策群② 農林水産業の成長産業化

- 北陸圏の食のブランドを活かした海外展開や交流・観光の推進

広域連携プロジェクトの概要【PJ6】

PJ6 競争力と魅力ある地域産業形成PJ

- 北陸の特徴あるものづくり産業の活性化にむけ、デジタル等の活用で競争力を強化
- 多様な関係機関の連携等によるイノベーションやスタートアップの創出を促進

施策群① 地域を支える活力ある産業の創出

- 令和6年能登半島地震で被災した伝統工芸産業の事業再建と伝統の継承
- デジタルを活用した産業の競争力強化や魅力ある産業の育成

施策群② イノベーション、スタートアップの創出

- 多様な人材・知・産業の集積や連携による起業環境の醸成や人材の育成・定着

■ DX・働き方改革推進 アクションプラン【富山県】

・2021年11月に「DX・働き方改革推進基本方針及びアクションプラン2021」を策定し、「産業の高付加価値化・ニュービジネス創出プロジェクト」や、「DXによる関係人口創出・拡大プロジェクト」等に取り組んでいる。

[産業の高付加価値化・ニュービジネス創出プロジェクト]

県内企業が、デジタル化・DXの実装を意欲的に進め、生産性の向上や新分野進出、企業間連携が進展

県IoT推進コンソ会員企業のIoT導入率 (R2)36%→(R5目標)44%

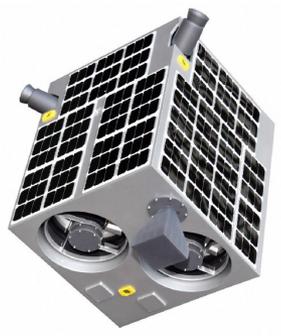


出典：DX・働き方改革推進基本方針及びアクションプラン2021の概要について(富山県)

■ 福井県民衛星プロジェクト【福井県】

・産学官金が連携して、ハードウェア、ソフトウェア、人材育成、インフラ等、様々な面で宇宙産業の拠点化を目指している。

[福井県民衛星「すいせん」]



[福井大学との超小型人工衛星の研究等に関する覚書締結]



出典：県民衛星プロジェクト紹介資料(福井県)

広域連携プロジェクトの概要【PJ7】

PJ7 産業誘致PJ

- 北陸圏の地域資源や地理的条件を活かした生産拠点等の誘致を促進
- 新たな成長産業等の立地・集積などによる地域の産業構造の転換

施策群① 地域の強みを活かした生産拠点の形成・強化

➤北陸の産業立地優位性のPRによる太平洋側等からの企業誘致

■ 金沢港国際物流ターミナル整備【北陸地方整備局】



出典：令和2年度第1回北陸地方整備局事業評価監視委員会
(北陸地方整備局)



■ 積極的なポートセールス【富山県】

[伏木富山港現地視察会の開催]



出典：令和3年度のポートセールス活動
(富山県商工労働部立地通商課)

施策群② 新たな産業集積や産業構造転換の促進

➤再エネ導入促進と関連産業の集積促進による地域の雇用の維持

PJ8 日本海側の中核圏域形成PJ

○北陸圏の地理的条件を活かした日本海側における産業・物流の中核拠点を形成するため、結節機能やネットワークを強化

施策群① 国土軸・連携軸の結節機能強化

- 日本海国土軸や太平洋側連携軸との交通結節機能等の強化
- 太平洋側の大規模災害に備えた日本海側の防災拠点機能の強化

施策群② 国土軸・連携軸のネットワーク強化

- 北陸新幹線やリニア中央新幹線等が環状で機能する広域ネットワークの強化
- 広域的な防災支援や代替性を確保する交通ネットワーク機能の強化

- 敦賀港国際物流ターミナル整備
【北陸地方整備局】



- 能越自動車道（輪島道路）
【北陸地方整備局】



- 富山高山連絡道路（大沢野富山南道路）
【北陸地方整備局】



PJ9 個性豊かな地域づくりPJ

- コロナ禍や震災からの観光産業の再生・発展による持続可能な観光地域づくりを推進
- インバウンド観光の回復を見据えて、国内外観光客の受入環境を整備等を推進

施策群① 持続可能な観光地づくり

- 令和6年能登半島地震の被災地域における観光需要の喚起
- オーバーツーリズム問題への対応や観光産業の担い手確保・育成

■ 石川県都市公園の整備(金沢城公園)【石川県】

○金沢城二の丸御殿の復元整備

- ・石川県では、平成30年より、専門の学識者による検討や各種調査等を行い、御殿の復元整備に向けた取組みを進め、令和3年3月に御殿の復元整備に向けた基本方針を策定した。
- ・令和3年度からは、復元整備事業に着手し、基本方針に沿って調査や設計等の取組みを進めている。

[二の丸御殿「表向」主要部の復元イメージ]



[虎の間の復元イメージ]



出典：金沢城二の丸御殿の復元整備（石川県土木部公園緑地課）

■ 伝統的建造物群保存地区の保存【石川県・福井県 等】

○金沢市東山ひがし伝統的建造物群保存地区

- ・江戸後期の茶屋町創設時の敷地割をよく残すとともに、今日では全国でも希少な茶屋の様式の意匠的に優れた伝統的建造物が多数残る。

○加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区

- ・江戸後期から明治中期にかけて繁栄した北前船の船主や船頭が居住した集落で、近世の地割を残すとともに、豪壮な家屋や特色ある石垣等、歴史的風致を今日によく伝えている。



金沢市東山ひがし



加賀市加賀橋立

出典：重要伝統的建造物群保存地区（教育委員会文化財課）

施策群② インバウンドの受入環境の拡充

- 国内外観光客の受入環境づくりや隣接圏域と連携した広域観光の充実

PJ10 新たな交流圏形成PJ

○北陸新幹線延伸、リニア中央新幹線開業などの交通ネットワークの拡充を活かし、新しい交流圏の形成を図り観光需要の拡大を促進

施策群① 観光資源ポテンシャルの最大限の発揮

- 交流に必要な交通基盤等の整備や文化・学術・スポーツ交流の推進
- 新たな「ゴールデンルート」の形成にむけた広域観光ルートの造成や情報発信等の推進

■ クルーズ船の誘致強化と受入体制の整備【石川県】

・金沢港機能強化整備の一環として、「金沢港クルーズターミナル」を整備し、急増するクルーズ船の乗客の利便性向上を図っている。



■ 新しいゴールデンルートの形成【北陸新幹線沿線自治体等】

・新潟県・長野県・富山県・石川県・福井県・岐阜県・東京都・埼玉県・群馬県・滋賀県、京都府、大阪府の12都府県並びに東日本旅客鉄道(株)及び西日本旅客鉄道(株)と連携し、北陸新幹線を活かした訪日外国人向けの新しいゴールデンルートの形成を目指す「グランドサークルプロジェクト」を実施している。



広域連携プロジェクトの概要【PJ11】

PJ11 関係人口拡大PJ

○北陸圏が持つ自然、伝統文化などの地域の魅力を活かし、北陸圏における関係人口の拡大と、関係人口を受入れるための環境形成や人材育成を推進

施策群① 人づくり・場づくり・仕組みづくり

- ワークーション等の取組強化等など関係人口を創出するための人づくり・場づくり
- 中間支援組織などの人材育成や市民制度など関係人口を創出するための仕組みづくり

■ ワークーション拠点「越廼サテライトオフィス」【福井県】

・「越廼サテライトオフィス」は、ワークーション推進の拠点として、市外の法人や個人事業主、その他団体等がテレワーク業務を行う場合や、ICTを活用した越前海岸エリアの情報発信や産業振興等の地域活性化活動を行う場合などで利用できる。



出典：越廼サテライトオフィスのご案内（福井市HP）

■ 田舎暮らし体験講座「とやま帰農塾」【富山県】

・「とやま帰農塾」は、都市農山漁村交流を通じて定住・半定住を促進するため、農林漁業体験や田舎暮らしに興味のある方を対象に2泊3日の田舎暮らし体験を開催している。



出典：富山県中山間地域活性化指針（富山県）

■ e-加賀市民制度（加賀版e-Residency）【加賀市】

・石川県加賀市では、「e-加賀市民制度」を導入して関係人口の拡大を図り、将来的には移住者の増加、観光客の増加、進出企業の増加を目指している。

「e-加賀市民制度（加賀版 e-Residency）」導入による観光都市「大聖寺十万石」の再興 ～新幹線駅前からはじまるアジャイル型まちづくり～



広域連携プロジェクトの概要【PJ12】

PJ12 隣接圏域等との連携促進PJ

○北陸圏の強みを活かし、弱みを克服するため、中部圏のほか、東北圏、近畿圏、首都圏など隣接する広域圏相互で連携した取組を推進

施策群① 北陸新幹線の延伸等による環状機能を含む広域ネットワークの強化

➤北陸新幹線や日本中央回廊の効果が北陸圏や隣接圏域に波及する取組の推進

施策群② 太平洋側と相互補完するリダンダンシー機能

➤日本海側と太平洋側が相互に補完した広域的な防災支援体制の構築

施策群③ 人々とつながり安心できる地域の構築

➤圏域境に位置する中山間地域における安全・安心かつ持続可能な生活圏を構築

■ 福井県・岐阜県ドクターヘリ相互応援運航【福井県・岐阜県】

- ・令和元年5月に協定を締結し、岐阜県ドクターヘリが福井県大野市和泉地区への応援運航実施している
- ・その後、令和3年5月から福井県ドクターヘリが運航開始したことから、令和4年10月に協定を締結し、福井県ドクターヘリが岐阜県郡上市へ応援運航を開始している。



【福井県ドクターヘリ】



【岐阜県ドクターヘリ】

出典：福井県とのドクターヘリ相互応援運航に係る協定の締結（岐阜県）

施策群④ 環白山・環北アルプス地域の自然保全・再生

➤環白山地域及び環北アルプス地域の自然的景観の保全・継承

広域連携プロジェクトの施策群・施策構成

目標 1 北陸圏での魅力ある暮らしの実現 ～生活環境・雇用環境の充実と安全・安心かつ環境と調和した地域づくり～

広域連携プロジェクト

施策群

施策

PJ1 安全・安心な地域づくりPJ

1. 震災からの早期復旧・復興

- (1) インフラ施設等の復旧促進と強靱化
- (2) 災害廃棄物の処理促進
- (3) 耐震化・液状化対策による災害に強い住まいの再建

2. 防災・減災、国土強靱化の更なる強化

- (1) 災害に強い国土形成
- (2) 減災に資する地域コミュニティを活かした体制の構築
- (3) 災害リスクの評価・共有と防災・減災対策の重点化
- (4) 災害時の応援体制と応急復旧体制の整備
- (5) デジタルを活用した的確な防災情報の提供・発信や災害情報の把握・共有による地域防災力の向上
- (6) 原子力発電所の安全・安心の確保

3. 安全・安心な国土利用・管理等による防災・減災まちづくり

- (1) 災害ハザードエリアにおける開発抑制とより安全な地域への居住誘導
- (2) グリーンインフラを含むインフラ施設の防災・減災機能の付加
- (3) 事前復興まちづくり計画策定の推進

4. 戦略的メンテナンスの取組強化

- (1) 予防保全型メンテナンスへの本格転換
- (2) 広域的・戦略的なマネジメント
- (3) 新技術・官民連携手法の普及によるメンテナンスの高度化・効率化
- (4) 集約・再編等によるストックの適正化
- (5) 多様な主体の連携・協力によるメンテナンス体制の構築

PJ2 多様性のある地域づくりPJ

1. 暮らしの再建と医療・福祉・子育て支援の取組強化

- (1) 若者から高齢者みんなが住みやすく、2世代、3世代と安心して住み続けられる、地域コミュニティの維持・充実、定住化環境整備
- (2) 安心して出産・育児ができる環境や共働きを可能とする子育て支援の拡充
- (3) ユニバーサル環境整備、雪国の安全・安心な移動空間の形成

2. 多様な主体の参加と連携

- (1) 女性の就業・起業や社会参加等就業環境の更なる充実
- (2) 高齢者も活躍できるエイジレス社会構築の推進
- (3) 外国人にも暮らしやすい地域づくりの推進
- (4) ダイバーシティへの対応
- (5) 地域力向上に向けた取組の方向性

3. 多様な価値観に応じた暮らし方・働き方の拡充

- (1) 多様な働き方のできる雇用環境の支援
- (2) 北陸圏での多様な暮らし方・働き方の提案
- (3) 優れた人材定着に向けた環境整備の充実及び多様な就業環境の創出
- (4) 若者が地域を知る機会・学ぶ機会を増やし、社会の一員として力を育む取組の充実

4. 新しい公共の領域拡大

- (1) 地域と企業の連携促進
- (2) ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの支援
- (3) 地域課題解決に向けた首都圏の大学等と地方公共団体との連携及びサテライトキャンパスの誘致、支援

広域連携プロジェクトの施策群・施策構成

目標 1 北陸圏での魅力ある暮らしの実現 ～生活環境・雇用環境の充実と安全・安心かつ環境と調和した地域づくり～

広域連携プロジェクト	施策群	施策
PJ3 デジタルを活用した地域生活圏形成PJ	1. 圏域の経済をけん引する高次都市機能集積拠点の形成	(1) 接続型都市圏の形成
	2. 持続可能な生活圏の再構築	(1) 中核都市を中心としたシームレスな国土づくり (2) デジタルを活用したリアルな充実と地域公共交通等の「リ・デザイン」 (3) デジタルを活用したインフラの長寿命化等対策などインフラマネジメントの構築
	3. 最適な国土利用・管理等による地域コミュニティの再生	(1) 持続可能な農山漁村の地域づくり (2) まちなかの人中心の都市・街路空間への再構築 (3) 北陸圏の暮らしに磨きをかける優れた住環境の整備 (4) デジタルを活用した暮らしやすさのPRによる住みたい、移住したくなる二地域居住、定住化、UIターン
PJ4 北陸圏グリーン化PJ	1. 自然環境の保全と里地・里山・里海の維持・形成	(1) 美しく豊かな自然環境・水循環や里地・里山・里海の保全 (2) 豊かな日本海の保全と管理 (3) 野生鳥獣の被害防止対策の強化 (4) 自然環境保全に関する意識啓発
	2. 脱炭素地域づくり	(1) 環境問題の解決をテーマとした環日本海諸国を始めとする東アジア等との国際協調・貢献 (2) 脱炭素地域づくり (3) 資源循環と不法投棄対策 (4) 生活環境の改善 (5) エネルギー技術開発の推進 (6) 農林水産業のグリーン化、森林資源の循環利用の確立

広域連携プロジェクトの施策群・施策構成

目標 2 競争力ある産業の育成 ～北陸における経済・生産の一層の活性化～

広域連携プロジェクト	施策群	施策
PJ5 活力ある農林水産業形成PJ	1. 食料の安定供給と農山漁村の活性化	(1)農林水産業の持続的発展のため条件整備 (2)農林水産業に取り組む人材の確保・育成
	2. 農林水産業の成長産業化	(1)農林水産業と地域食品産業の活性化 (2)新たな木材需要の創出、木質バイオマスの利用促進等による林業の成長産業化 (3)北陸圏の優れた食のブランド化と海外展開の推進 (4)北陸圏の優れた食をテーマとした交流・観光の強化
PJ6 競争力と魅力ある地域産業形成PJ	1. 地域を支える活力ある産業の創出	(1)ものづくり産業集積とデジタル技術を活用した産業競争力の強化 (2)DXによるビジネスモデルの変化への対応 (3)北陸の伝統産業のブランド化・グローバル化 (4)経済効果の高い滞在型旅行の拠点である宿泊施設や観光施設のリノベーション、観光DXの推進
	2. イノベーション、スタートアップの創出	(1)イノベーションを生む多様な人材・知・産業の集積、産学官金との連携による起業環境の醸成 (2)起業意欲にあふれる人材の育成・定着と誘致、ものづくりの継承 (3)北陸圏における地域の関連産業・企業間の連携強化と地域経済循環の促進
PJ7 産業誘致PJ	1. 地域の強みを活かした生産拠点の形成・強化	(1)きれいな水、安価な電力と助成制度、良質な地下水、優れた企業、インターチェンジに近い優位性のPRの推進 (2)海外や国内他地域からの企業の製造拠点・本社・研究開発・研修機能等の誘致や人材育成、誘致による地域産業の活性化 (3)太平洋側からの本社・研究機能等企業誘致の促進
	2. 新たな産業集積や産業構造転換の促進	(1)データセンターの分散立地 (2)再エネ導入促進と関連産業の集積促進

目標 3 日本海側の中核圏域の形成 ～日本海側圏域及び太平洋側圏域との連携強化～

広域連携プロジェクト	施策群	施策
PJ8 日本海側の中核圏域形成PJ	1. 国土軸・連携軸の結節機能の強化	(1)道路・鉄道・港湾・空港と産業活動が連携した物流機能の強化 (2)港湾・空港・駅・インターチェンジ等交通結節点の機能強化、アクセス機能の強化 (3)高速交通ネットワークの充実に伴う圏域内交流を支える二次交通の充実 (4)太平洋側の安全・安心に貢献する日本海側の防災拠点の強化
	2. 国土軸・連携軸のネットワークの強化	(1)北陸新幹線、東海道新幹線、リニア中央新幹線で形成される環状機能を含む広域ネットワークの強化 (2)高規格道路等の幹線道路ネットワーク等の交通機能の強化 (3)海域・空域の安全確保・保安対策

広域連携プロジェクトの施策群・施策構成

目標 4 交流・関係人口の創出 ～北陸の魅力を活かした国内外との交流・関係の創出～

広域連携プロジェクト

施策群

施策

PJ9 個性豊かな地域づくりPJ

1. 持続可能な観光地づくり

- (1) 自然・歴史・文化を活かした地域個性の構築と魅力ある観光地の形成
- (2) 伝統的な産業、自然・歴史に培われた暮らしの継承・発信
- (3) 国内外、隣接圏域との交流充実、広域観光充実
- (4) 観光産業の担い手確保・育成
- (5) 観光地域づくりの体制強化

2. インバウンドの受入環境の拡充

- (1) 受入環境の充実

PJ10 新たな交流圏形成PJ

1. 観光資源ポテンシャルの最大限の発揮

- (1) 交流に必要な交通基盤、社会基盤整備
- (2) 国際的な文化・学術・スポーツ交流の推進
- (3) 新たな「ゴールデンルート」の形成

PJ11 関係人口拡大PJ

1. 人づくり・場づくり・仕組みづくり

- (1) 体験型滞在の充実、ワーケーションへの取組強化、関係人口の拡大
- (2) 地域課題の解決に関わる企業・人材の取組支援
- (3) 来訪者と地域をつなぐ取組の推進

横断的取組 他圏域と連携した広域連携プロジェクト

広域連携プロジェクト

施策群

施策

PJ12 隣接圏域等との連携促進PJ

1. 北陸新幹線の延伸等による環状機能を含む広域ネットワークの強化

2. 太平洋側と相互補完するリダンダンシー機能

3. 人々とつながり安心できる地域の構築

4. 環白山・環北アルプス地域の自然保全・再生